

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	視能矯正学各論Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1)
対 象 学 年	2年生	学 期	前期 木曜2限	教室名	1002教室
担 当 教 員	三辻真由美				
実務経験と その関連資格	視能訓練士として、眼科にて視能検査に9年間従事している				
《授業科目における学習内容》					
1年生で学んだ斜視弱視の知識をもとに、弱視の知識定着と臨床所見の特徴を理解し、適切な治療・訓練方法について学ぶ					
《成績評価の方法と基準》					
試験評価80% 平常点20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
視能学第3版 文光堂 視能矯正学第3版 金原出版					
《授業外における学習方法》					
1年生で配布しているスライド資料、教科書を読み、知識の整理と定着を行う					
《履修に当たっての留意点》					
弱視の治療・訓練については医師と相談しながら、視能訓練士主導にて進めていく施設が多くあります。 講義の中でそれぞれの弱視における適切な治療や訓練方法を理解し、症例について考えることができるようになります。					
授業の 方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第 1 回	授業を通じての到達目標	小児の視覚発達特性について説明できる	視能学 視能矯正学	教科書を読む	
	各コマにおける授業予定	小児の視覚発達特性			
第 2 回	授業を通じての到達目標	弱視の各型についての復習	視能学 視能矯正学	教科書を読む	
	各コマにおける授業予定	屈折異常弱視、経線弱視			
第 3 回	授業を通じての到達目標	弱視の各型についての復習	視能学 視能矯正学	教科書を読む	
	各コマにおける授業予定	不同視弱視、微小斜視弱視、斜視弱視、形態覚遮断弱視			
第 4 回	授業を通じての到達目標	固視検査と固視検査結果の分類について説明できる	視能学 視能矯正学	教科書を読む	
	各コマにおける授業予定	固視検査について			
第 5 回	授業を通じての到達目標	光学的視能矯正について説明できる	視能学 視能矯正学	教科書を読む	
	各コマにおける授業予定	調節麻痺下での屈折検査			

授業の方法		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	完全遮閉法・不完全遮閉法の違いについて説明できる	視能学 視能矯正学 教科書を読む
	各コマにおける授業予定	完全遮閉法・不完全遮閉法	
第7回	授業を通じての到達目標	各種眼位検査について説明できる	視能学 視能矯正学 教科書を読む
	各コマにおける授業予定	眼位検査・4△BaseOuttest	
第8回	授業を通じての到達目標	パッチワークス	配布プリント 視能矯正学
	各コマにおける授業予定	パッチワークス作成	
第9回	授業を通じての到達目標	パッチワークス	配布プリント
	各コマにおける授業予定	パッチワークス作成	
第10回	授業を通じての到達目標	各種視能訓練について説明できる	視能学 視能矯正学 教科書を読む
	各コマにおける授業予定	アトロピン点眼療法・Cuppers法・Bangerter法	
第11回	授業を通じての到達目標	各種視能訓練について説明できる	視能学 視能矯正学 教科書を読む
	各コマにおける授業予定	ペナリゼーション・Moore-Johnson法	
第12回	授業を通じての到達目標	各種視能訓練法について説明できる	視能学 視能矯正学 教科書を読む
	各コマにおける授業予定	ロカリザツール・コレクトール・CAM	
第13回	授業を通じての到達目標	弱視治療の効果判定について説明できる	視能学 視能矯正学 教科書を読む
	各コマにおける授業予定	弱視治療の効果判定	
第14回	授業を通じての到達目標	心因性視覚障害	視能学 視能矯正学 教科書を読む
	各コマにおける授業予定	心因性視覚障害の臨床的所見	
第15回	授業を通じての到達目標	履修範囲の知識がアウトプットできる	配布プリント まとめ問題でできていなかったか所の復習
	各コマにおける授業予定	まとめ問題を解く	